



# DOCOMO TEAM DANDELION RACING

## Team Release

### 決勝レポート

#### 2021/10/17 Rd-6 ツインリンクもてぎ

天候：雨のち曇り 気温：19℃ 出走台数：19台  
観客数：16日(土)3,600人 17日(日)4,700人 合計8,300人

Rd6 ツインリンクもてぎ 決勝日の朝は冷たい雨。13時ごろに雨が上がる予報もあり、チームとドライバーにとって非常に難しいコンディションとなった。

スタート時には雨は上がり、しかし低い気温と濡れた路面の状態の中、牧野選手は7番グリッド、福住選手は14番グリッドと中団からのスタート。

福住選手、牧野選手 両選手ともに濡れた路面で混乱に巻き込まれることなく1-2コーナーをクリア。ピットイン可能となる10周目までに、牧野選手は5番手に、福住選手は10番手までポジションを上げる。

10周目に発生したスピンによりセーフティカーが導入されると、チームは牧野選手をピットに呼びドライタイヤへ交換。コースへ送り出した。一方、福住選手は未だ濡れている路面状況からドライタイヤへの交換はまだ早いと判断しコースに留まった。

13周目にレースは再開、福住選手を含むウェットタイヤの上位3台は、ドライタイヤ勢とのマージンを稼ぐべくフルプッシュで周回するが、路面は早々に乾き始める。ドライタイヤ勢のタイムが上回り始めた15周目、福住選手はピットインしドライタイヤへ交換。しかし右リヤタイヤの交換に手間取り大きくタイムロスとなってしまう。

その後コースオフやクラッシュにより2度セーフティカーが導入される荒れた展開に。残り9周でリスタートが切られた時点で牧野選手3番手、福住選手12番手。それぞれ表彰台とポイント獲得を目指しアグレッシブに走行。一時4番手にドロップした牧野選手は残り2周でポジションを取り返し3位で、福住選手も前を追うが届かず12位でレースを終えた。

#### 5：福住選手 12位 (HONDA 勢5位)

難しいコンディションでしたが、様々な状況下で車の感触は良くポジティブな部分も多かったです。結果的に選んだ戦略は上手いかず、ピットストップでもトラブルが出てしまいポイント圏外で終えることになったのは残念です。車自体はとても良かっただけに、予選のタイヤ選択が悔やまれます。牧野選手が3位となったことで、チームタイトルポイントは僅差となりました。鈴鹿ではダブル表彰台でチームタイトルに貢献したいです。

#### 6：牧野選手 3位 (HONDA 勢2位)

スタート時の路面の濡れた状態では何とか前についていく展開でしたが、路面が乾くにつれてペースアップでき、またドライタイヤへの交換タイミングもチームが的確に判断してくれて、チームに支えられて移籍後初の表彰台獲得できた事を嬉しく思います。

上手くいったことと同時に課題も見つかりましたので、しっかりと準備し、最終戦鈴鹿で今シーズンを最高の形で締めくくりたいと思います。